

令和元年度 第1回久留米市立図書館協議会

日 時 令和元年10月4日(金) 午前10時15分

会 場 久留米市立中央図書館3階会議室

次 第

- 1 辞令交付
- 2 会議成立報告
- 3 委員・事務局紹介
- 4 会長選出
- 5 就任挨拶(会長)
- 6 議事
 - (1) 平成30年度 久留米市立図書館実績報告
 - (2) 令和元年度 久留米市立図書館事業計画 等
 - (3) 久留米市子どもの読書活動推進計画について
 - (4) その他
- 7 閉会

久留米市立図書館協議会委員名簿

(令和元年7月1日付委嘱)

区分	氏名	役職名又は所属
学校教育 の関係者	ふじた きいちろう 藤田 喜一郎	久留米市私立幼稚園協会会長 (久留米あかつき幼稚園園長)
	ならはし えつこ 檜橋 関子	久留米市小学校校長会 (下田小学校校長)
	さの あつし 佐野 淳	久留米市中学校校長会 (江南中学校校長)
	うちだ たけふみ 内田 武文	筑後地区公立高等学校等校長協会会長 (福岡県立明善高等学校校長)
社会教育 の関係者	さとう あい子 佐藤 あい子	久留米男女共同参画推進ネットワーク次長
	とりごえ ただひろ 鳥越 忠廣	久留米市校区まちづくり連絡協議会(市民学習部会部会長)
	いなます ひでこ 稲益 英子	久留米市社会教育委員
家庭教育 の向上に 資する活 動を行う 者	まわたり ちづこ 馬渡 千鶴子	おはなしボランティア(田主丸図書館)
	わたなべ まり 渡辺 眞理	布の絵本ボランティア(三潞図書館)
	おおくし ひろこ 大櫛 廣子	点訳ボランティアきつつき
	ほさか さだひろ 保坂 貞博	久留米市保育協会理事 (かわい保育園 園長)
学識 経験の ある者	ごんどう ともき 権藤 智喜	久留米市議会議員
	べつぷ たつえ 別府 龍江	全国童話人協会委員
	ながとし かずのり 永利 和則	日本図書館協会理事
	とおやま じゅん 遠山 潤	久留米大学 学長特別補佐
	まつい えみこ 松井 恵美子	福岡県立図書館 副館長
	うめの ともみ 梅野 智美	九州大谷短期大学講師

※委員任期は、平成30年7月1日～令和2年6月30日

資料 1

図書館協議会資料
令和元年10月4日
市民文化部中央図書館

平成30年度
久留米市立図書館実績報告

久留米市立図書館の概要(平成30年度実績)

項目	中央館	六ツ門館	田主丸館	北野館	城島館	三潯館	合計(全館)
所在地	野中町970-1 (石橋文化センター内)	六ツ門町 3-11	田主丸町 田主丸 770-1	北野町中 3253	城島町檜津 1-1	三潯町玉満 2949-1	-
施設	中央図書館 4階建て	くるめりあ 六ツ門5階	そよ風ホール	コスモすまいる 北野	城島総合 文化センター	三潯生涯 学習センター	-
開館時期	昭和53年 9月20日	平成22年 10月2日	平成16年 4月1日	平成22年 4月27日	平成10年 6月2日	平成8年 10月1日	-
開館時間	火曜日～金曜日 10時～20時 土日祝日 10時～18時	月・火曜日 木～土曜日 10時～20時 日祝日 10時～18時	火曜日～日曜日、祝日 10時～18時				-
閉館日 * 年末年始・特別整理期間を除く	祝日を除く月曜 第4木曜日	祝日を除く水曜 第4木曜日	毎週月曜日、第4木曜日				-
面積	敷地4,042㎡ 建築1,180㎡ 延床4,320㎡	専用面積 1,387㎡	専用面積 1,579㎡	専用面積 1,065㎡	専用面積 992㎡	専用面積 569㎡	-
駐車場	66台	施設共用 241台	施設共用 200台	施設共用 100台	施設共用 90台	施設共用 146台	-

蔵書数(冊)	343,610	81,923	98,396	106,208	116,270	89,770	836,177
一般書	238,767	61,506	66,894	75,966	81,147	55,758	580,038
児童書	104,843	20,417	31,502	30,242	35,123	34,012	256,139
録音・点字図書	17,259	-	-	-	-	-	17,259
視聴覚資料	3,667	-	2,767	2,001	3,963	2,688	15,086
購入雑誌タイトル	120	75	83	78	76	85	517
購読新聞	26	7	7	8	7	7	62
貸出者数(人)	157,563	85,224	25,907	54,135	25,144	32,986	380,959
貸出冊数(冊)	603,123	304,097	108,455	207,974	110,194	154,077	1,487,920
図書購入費(円)	17,233,104	6,154,344	3,061,156	3,061,156	3,061,156	3,061,156	35,632,072

職員数(人) (内は司書数)	35(26)	8(5)	6(5)	6(5)	6(5)	6(5)	67(51)
職員(常勤)	12	1					13
内司書	6	0					6
非常勤職員等	23	7	6	6	6	6	54
内司書	20	5	5	5	5	5	45

ボランティア(人)	205	0	33	64	24	25	351
おはなし	45		16	41	15	7	124
赤ちゃん向け			11	6			17
人形劇	14						14
布の絵本						11	11
昔話民話	17						17
音訳	36						36
録音校正	5						5
点訳	16						16
点字校正	2						2
対面朗読	8						8
ブックスタート	55		6	17	9	7	94
ブックトーク	7						7
ボランティア団体数	10		4	7	3	3	27

資料 2

図書館協議会資料
令和元年10月4日
市民文化部中央図書館

平成30年度
久留米市立図書館実績報告

目 次

1 図書館の概要	1
(1) 施設概要	1
(2) 組織・職員構成	1
2 資料の収集と蔵書	2
(1) 資料の収集	2
(2) 蔵書	2
3 図書館運営	3
(1) 利用について	3
(2) サービスについて	4
4 子どもの読書推進	5
(1) これまでの評価と課題	5
(2) 第3次久留米市子どもの読書活動推進計画	6
(3) 学校及び学校図書館との連携	7
5 中央図書館開館 40 周年記念事業	8

1 図書館の概要

(1) 施設概要

中央館は、計画的に耐震化や防水工事など大規模な施設改修を行ない、長寿命化を進めてきました。

くるめりあ六ツ門ビル内の六ツ門館は、中心市街地活性化事業の一環としての賑わい創出、市民の利便性向上による図書館サービス拡大などを目的に開設しました。

田主丸・北野・城島・三瀧の地域館は、いずれも複合施設内に開設し、各総合支所エリアの住民を主なサービス対象として、中央館との連絡・連携を行いながら運営しています。

なお、全館はオンラインで結び、ICタグによる資料管理、全館共通の利用者カードにより、すべての図書館で貸出・返却・予約が可能です。

■各施設概要

	開館年	延床面積 (㎡)	蔵書数 (冊)	備 考
中央館	S 53	4,320	343,610	単独施設、RC4階建
六ツ門館	H 22	1,387	81,923	「くるめりあ六ツ門」内
田主丸館	H 16	1,579	98,396	「そよ風ホール」内
北野館	H 22	1,065	106,208	「コスモすまいる北野」内
城島館	H 10	992	116,270	「城島総合文化センター」内
三瀧館	H 8	569	89,770	「三瀧生涯学習センター」内
合 計		9,912	836,177	

(蔵書数は30年度末、図書及び視聴覚資料含む、雑誌は除く)

(2) 組織・職員構成

各館に次のとおり司書職員を配置し、図書館運営の専門性の確保に取り組んでいます。図書の選書・保存、学校・地域コミュニティ・ボランティアなどとの連携による図書館運営を着実にを行うため、司書職員を計画的に配置しています。

■令和元年9月1日現在の職員配置数

(単位：人)

図書館名	一般職 (うち司書)	再任用職員	嘱託	その他の非常勤等 (うち司書)	合計
中央館	12 (5)			23 (20)	35 (25)
六ツ門館	1 (0)	1 (0)		6 (5)	8 (5)
田主丸館	—		1 (0)	5 (5)	6 (5)
北野館	—		1 (0)	5 (5)	6 (5)
城島館	—		1 (0)	5 (5)	6 (5)
三瀧館	—		1 (0)	5 (5)	6 (5)
合 計	13 (5)	1 (0)	4 (0)	49 (45)	67 (50)

※パート職員は含まない

2 資料の収集と蔵書数

(1) 資料の収集

①資料状況（資料の収集、整理など）

図書館の基本的な機能である資料の提供を行うために、書籍の他、行政資料、地域固有の資料などを県内各図書館とも分担・連携しながら収集し、整備・充実に努めています。

一般書については、市民の文化や教養、調査研究、レクリエーションなどに資するため収集・選書しています。また、郷土・行政資料については、地元出身者の著書、久留米に関わる図書、地域行政資料などを中心に収集しています。

②資料展示

芥川賞・直木賞や、オリンピックといったタイムリーな話題、入園入学準備の新生活応援、年末年始の準備など季節的な行事への生活提案などの図書資料の展示。

（行政課題支援）

自殺防止、男女共同参画、DV防止、反戦平和、防災対策など行政施策を推進する展示など、各館とも多様な企画展示を行ないました。

（美術館との連携）

市美術館の展覧会に関連した資料展示に加え、下記の5展示会では割引券がつかいしおりを図書館カウンターで配布することにより、図書館利用者の美術館利用の促進を図っています。

「岸田劉生と椿貞雄」「名画が奏でる8つのフーガ」「プラティスラヴァ絵本原画展」「ウィリアム・モリスと英国の壁紙」「コレクションing」

(2) 蔵書

蔵書及び書籍購入費の推移は次のとおりです。六ツ門図書館と北野図書館の開館による資料整備が終了し、平成26年度以降の図書購入費は横ばいです。平成28年度より雑誌スポンサーの募集を行なうなどして、予算の確保に努めています。

■蔵書実績の推移

（単位：冊）

図書館		H26	H27	H28	H29	H30
中央館	中央館	304,246	310,752	310,400	315,670	322,684
	六ツ門館	68,487	72,591	76,372	79,604	81,923
地域館	田主丸館	95,295	94,491	94,607	94,642	95,629
	北野館	95,297	97,727	99,894	102,143	104,207
	城島館	106,205	107,566	109,001	110,291	112,307
	三潯館	83,144	81,973	83,648	85,467	87,082
合計		750,674	765,100	773,922	787,817	803,832

※蔵書冊数は、図書のみ。視聴覚資料・福祉資料・雑誌は除く

■図書購入費予算額の推移

図書館		H27	H28	H29	H30	R1
中央館	中央館	18,520千円	17,485千円	17,731千円	17,798千円	18,330千円
	六ツ門館	6,608千円	6,276千円	6,213千円	6,154千円	6,155千円
地域館	田主丸館	3,478千円	3,304千円	3,271千円	3,243千円	3,061千円
	北野館	3,478千円	3,304千円	3,271千円	3,243千円	3,061千円
	城島館	3,478千円	3,304千円	3,271千円	3,243千円	3,061千円
	三潯館	3,478千円	3,304千円	3,271千円	3,243千円	3,061千円
合計		39,040千円	36,977千円	37,028千円	36,924千円	36,729千円

※図書のみ。視聴覚資料・福祉資料・新聞・雑誌は除く

3 図書館運営

(1) 利用について

①登録要件

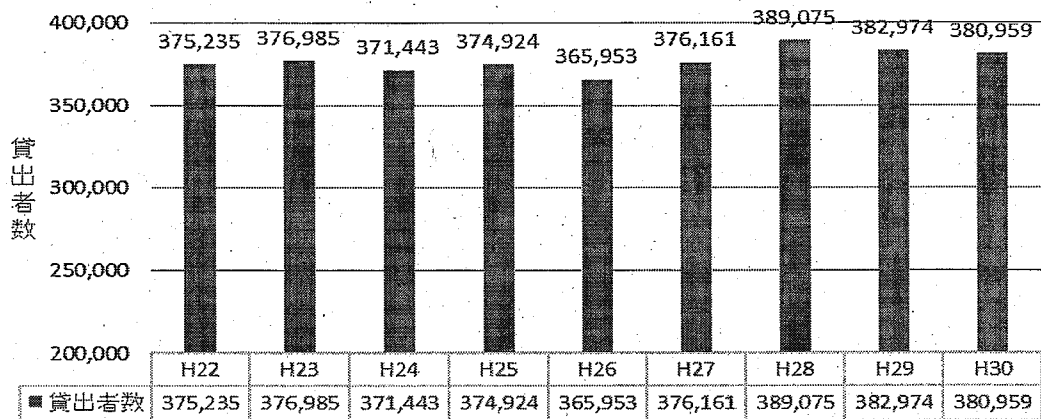
市内居住者や市内通勤通学者、久留米広域市町村圏（大川市・小郡市・うきは市・大刀洗町・大木町）、3市1町（小郡市・鳥栖市・基山町）、北筑後地区公共図書館協議会広域利用協定（朝倉市・筑前町・東峰村）内居住者。

②利用状況

○貸出者数

平成22年度以降は37万人超で推移し、26年度に一旦36万人台に減少したものの、27年度以降再び増加し、28年度は約39万人の利用がありピークとなりました。

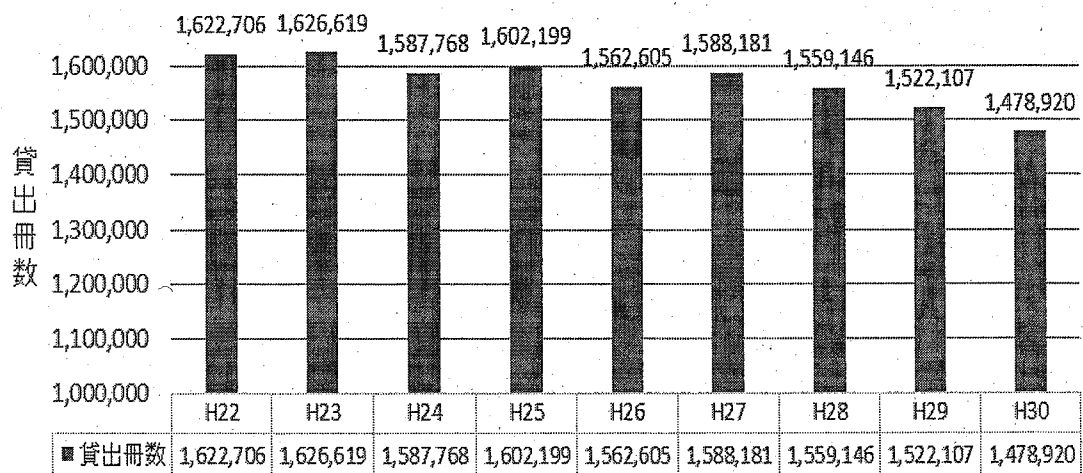
貸出者数の推移



○貸出冊数

平成23年度をピークに、減少傾向になっています。

貸出冊数の推移



(2) サービスについて

①貸出と予約サービス

貸出冊数は、1人図書・雑誌合わせて10冊以内、視聴覚資料（CD、DVDなど）3点以内、貸出期間15日以内。

希望図書が貸出中や所蔵が無い場合は「返却待ち」や「購入依頼」、市外の図書館から「取り寄せ」ができます。なお、所蔵本の予約は窓口以外にホームページや館内に設置した利用者端末から可能で、市内図書館のいずれでも受取・返却が可能です。

なお、中央館の視聴覚資料（CD、DVDなど）コーナーは、平成30年2月から1階に窓口を移しています。

②レファレンスサービス（調べ物サービス）

調べ物についての問い合わせ、様々な読書相談に対して、司書職員が調べ方をサポートし、情報や資料の提供を行っています。

またパスファインダー（1つのテーマに関する資料や情報を探すための手順を簡単にまとめたもので、効率的に探している資料を見つけることができる）を作成・配布しており、ホームページで閲覧もできます。

■レファレンス件数

	一般	郷土	計
質問内容	528	750	1,278

③児童サービス

平成14年10月から実施している「ブックスタート」では、絵本をプレゼントしています。また、その参加者に図書館を継続的に利用してもらえるよう、「赤ちゃんおはなし会」をはじめ、市内図書館全館で、ボランティアの皆さんと連携しておはなし会を実施しています。

他にも、クリスマス会など季節のおはなし会のイベントや、1つのテーマで集めた本をキーワードでつないで紹介していく「ブックトーク」、絵本作家や児童文学作家から創作についての話を聞く「児童文学講演会」など、図書館や読書に対して関心をもってもらえるような場をボランティアの皆さんの協力のもと開催しています。

■ブックスタート参加率の推移

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
参加数(組)	1,704	1,706	1,778	1,866	1,805	1,708	1,724
参加率(%)	58.0	55.6	58.4	60.3	61.5	59.3	59.4

(中央図書館調査)

④利用困難者・館外サービス

○移動図書館（グリーン号）

児童書・一般書約3,000冊を搭載し、図書施設が近隣に無い、居住地・小学校・福

社施設・病院など41か所を毎月巡回しています。また、足元の不自由な方や車いすの方も利用できるように、電動の昇降リフトを設備しています。

巡回地	住宅地	小学校	福祉施設・病院	全体
合計数	21ヶ所	15ヶ所	5ヶ所	41ヶ所

○団体貸出

小中学校や学童保育所、福祉施設、教育集会所、子育て支援センターなど、地域において読書活動などを行う108団体に対し、年間約43千冊を貸し出しています。29年度からは、一人親支援施設などにも貸し出しを始めました。

登録団体	学童保育所	学校	福祉施設	まちづくり組織	その他	計
合計数	45	28	12	19	4	108

○福祉宅配サービス

視覚障害等で一般の図書での読書が困難な方には、録音図書・点字図書の無料宅配サービスや対面朗読サービスを行っています。また、サピエを通して全国の図書館等がアップロードした点字18万・音訳7万タイトルの図書を提供できるようにしております。

視覚障害以外の身体障害等の方や、高齢で要介護等の状態の方で、地域の施設図書館への来館が困難な方には、一般図書の無料宅配サービスを行っています。

■平成30年度利用実績

利用者名	視覚障害者等 利用登録者	身体障害者等 利用登録者	計
利用登録者	95人	11人	106人
延べ利用冊数	4,869冊	145冊	5,014冊

(図書館要覧より)

⑤読書への関心を高める取り組みや地域館独特の取り組み

本の福袋、ビブリオバトル、ほろ酔い川柳の実施

4 子どもの読書推進

子どもの読書推進は、平成13年に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」を受けて、平成19年度より「久留米市子どもの読書活動推進計画」に取り組み、29年度より「第3次計画」に取り組んでいます。

2007～2011 (5カ年)	2012～2016 (5カ年)	2017～2019 (3カ年)
第1次久留米市 子どもの読書活動推進計画	第2次久留米市 子どもの読書活動推進計画	第3次久留米市 子どもの読書活動推進計画

(1) これまでの評価と課題

「久留米市子どもの読書活動推進計画」により、子どもを取り巻く読書環境が進みました。

一方で、読書を親しむ子どもとそうでない子どもの二極化、スマホ等の普及による活字離れなどの課題があります。

■学校図書館 1人当たり貸出数(冊)の推移

(単位:冊)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
市立小学校 46校	44.11	50.64	50.75	55.74	59.27	59.90	66.38	69.3
市立中学校 17校	5.68	6.00	6.48	7.87	9.12	8.89	9.92	11.4

(教育委員会調査)

■児童登録者数・児童貸出者数・児童図書貸出冊数の推移

(単位:人・冊)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
市内児童人口 (0~14歳)	43,549	43,485	43,493	43,507	43,344	43,009	42,853
児童貸出者数 (0~14歳)	78,345	80,437	76,283	78,947	78,629	76,547	76,089
児童図書 貸出冊数	502,422	513,700	509,300	536,530	538,953	541,878	535,867

※市内児童人口は各年 10月1日現在

(中央図書館調査)

■子どもの読書活動推進計画に伴う学校アンケート結果

項目	区分	H18	H23	H28	R1
1ヶ月の読書量 (不読者を含む)	小学生	6.4冊	6.1冊	6.8冊	6.2冊
	中学生	2.2冊	2.8冊	3.0冊	3.4冊
	高校生	1.7冊	2.0冊	2.2冊	2.1冊
1ヶ月に1冊も本を 読まなかった割合 (不読率)	小学生	3.1%	3.0%	3.4%	6.0%
	中学生	26.5%	23.5%	20.2%	20.3%
	高校生	16.9%	12.7%	11.8%	18.6%

(中央図書館調査)

(2) 第3次久留米市子どもの読書活動推進計画

第3次計画では、第1次及び第2次計画の評価と課題を踏まえ、施策の継続及び充実に加え、新規に3施策の取り組みを行ってまいります。

また、小中学生の不読率を「目標とする数値」として定め、その実現のために9項目の数値を改善してまいります。

①計画の構成

●発達段階での方向性

乳幼児:「語りかけ」や「読み聞かせ」の充実

小学生:「読み聞かせ」の充実と保護者、学校、地域、図書館による支援

中高生:自主性を尊重し、読書支援のため保護者、学校、地域、図書館の連携・協働

●各領域での方策(51施策)

○家庭・地域:13施策 ○幼稚園等:3施策 ○学校:5施策 ○図書館:28施策

○ネットワーク:2施策

●新規の取り組み

・家読の推進(ブックリストの作成、講座実施、おすすめ本貸出セット整備)

・ビブリオバトル・ビブリオトーク(児童・生徒に特化して実施)

・学校図書館との連携強化(地域館と学校図書館との意見交換会開催)

②目標とする数値

項目	区分	現状値 (平成28年度)	実績値 (令和元年度)	目標値 (令和元年度)
不読率 (1ヶ月に1冊も本 を読まなかった割合)	小学生	3.4%	6.0%	2.5%以下
	中学生	20.2%	20.3%	15%以下

領域	項目	現状値 (平成27年度)	実績値 (平成30年度)	目標値 (令和元年度)
家庭・地域	①ブックスタート参加率	60.3%	59.4%	64%以上
	②学童保育所への団体貸出数	22,420冊	28,265冊	30,000冊
幼稚園等	③絵本スペースの整備	84%	86%	90%以上
	④保護者への働きかけ	78%	86%	100%
学校	⑤1か月に3冊以上の小学生読書率	84.7%	80.3%	87%以上
	⑥小・中学校の年間学校図書貸出数	104万冊	124.6万冊	106万冊以上
図書館	⑦図書館児童書貸出数	536,530冊	535,867冊	570,000冊以上
	⑧図書館児童図書蔵書数	24万冊	256,139冊	25.5万冊以上

※幼稚園等の③絵本スペースの整備及び④保護者への働きかけの現状値は平成28年度

③重点事業

- 子ども用パスファインダー作成や調べ学習等による子どもの学力支援の推進
- 団体貸出及び除籍本配布の拡充等による図書館を利用しにくい子どもへの支援
- 家読の推進（ブックリスト作成、講座開催、おすすめ本貸出セット整備）

(3) 学校及び学校図書館との連携

子どもたちにとって身近な読書環境である学校及び学校図書館に対して、次のとおり協力及び支援を行っています。また、教育部学校教育課と図書館の担当者が、合同研修会開催や情報交換等のため学校図書館連絡会議を月1回開催しています。

① 学校授業の支援

団体貸出及び特別貸出制度による学校授業の支援、図書館ボランティア（ブックトーク講師）の派遣、図書館から距離のある小学校15校への移動図書館による巡回

② 学校図書館との連携

学校司書と図書館司書職員との合同研修会の企画・開催、学校読書ボランティア研修会の開催、地域館と学校司書との意見交換会開催（田主丸館、三瀧館で実施）

③ 1日図書館員及び職場体験受入

小学生4～6年生対象とした仕事を体験する1日図書館員（4館で35名）、中学校、高等学校、短大、大学等からの職場体験及び司書実習の受け入れ

■平成30年度職場体験等受入実績

館名	中学校	高校	短大・大学	計
中央館	7校13人	3校5人	2校2人	12校20人
六ツ門館	1校2人	2校5人		3校7人
田主丸館	1校2人			1校2人
北野館	1校3人	2校9人		3校12人
城島館	3校9人			3校9人
三瀨館	3校8人	2校8人		5校16人
合計	16校37人	9校27人	2校2人	27校66人

5 中央図書館開館40周年記念事業

日時	行事名	内容
H30.11.9 (金)	おとなが楽しむおはなし会	おとなの方を対象とした民話の語り、詩の朗読、小咄など
H30.11.10 (土)	ブックトーク講演会	講演『絵本から幼年・児童文学へ ～読書の楽しさをつないでいくには～』 ブックトーク『おいしい おいしい』
H30.11.10(土)・ 11 (日)	点訳と音訳図書の体験	点字図書・音訳図書の展示とボランティアによる点字作成体験と音訳図書の試聴コーナー
H30.11.17 (日)	わくわくにんぎょうげき	人形劇・ブラックシアター・パネルシアター・手遊びなど
H30.11.25 (日)	さいとうしのぶ絵本ライブ・講演会、ワークショップ	絵本ライブ・講演会、ワークショップ『自分の名前で絵本をつくろう!』

資料 3

図書館協議会資料
令和元年10月4日
市民文化部中央図書館

令和元年度久留米市立図書館事業計画 等

久留米市立図書館 令和元年度 運営方針及び事業計画

1 運営方針

久留米市立図書館は、市民の読書・学習・情報収集の拠点として、多様な図書資料や情報の収集・整理・保存を行い、市民に適切に提供を行う。

一方で、現在、わが国は人口減少社会や超高齢化の進展、変貌しつつあるグローバル化社会、インターネットやスマートフォンなどの急速な普及という時代にある。特に「読書はネットやスマホに時間とお金の奪い合いに負けている」と言われるように、図書館や読書活動は大きな岐路を迎えている。

そのような状況下で、図書館利用を推進するために、六ツ門図書館の月曜日開館、返却ポストの増設、有料宅配サービスの開始などに取り組んできたところである。

本年度は、子どもの読書推進や多様な市民の生涯学習ニーズに応じるため、市民と協働しながら、市民生活の充実と地域社会の発展を支える役割を担う図書館運営を進める。そのため、次の内容を視点として事業を行なう。

- ① 子どもの読書活動推進を進め、幅広い年齢層に対応する多様な図書資料や情報の収集・整理を行ない、利用者への適切な提供や企画展示など積極的な利活用を図る。
- ② 地域館や他自治体も含めた図書施設とのネットワークの緊密化、石橋文化センターエリア施設・関係団体等との連携などにより、図書館全体の総合力を高め、サービスの充実を図る。
- ③ 窓口集約化等やサービス向上を進め、市民に親しまれる利用しやすい図書館づくりを進める。

以上を踏まえ、令和元年度運営方針を以下の通りとする。

- (1) 市民が求める資料を積極的に収集、整理、保存、活用に供する。
- (2) 市民の自主的な読書・調査研究・学習・情報収集の活動を支援する。
- (3) 図書館を利用しにくい人を支援するため、館内・館外サービスの充実を図る。
- (4) 国立国会図書館、県内・近隣図書館との相互協力、学校教育・社会教育などの機関や施設との連携協力を努める。
- (5) 市民やボランティアとの協働により、地域の課題解決支援など地域を支える図書館づくりに努める。
- (6) 市民が利用しやすい図書館づくりの調査・検討を進める。

2 事業計画

- (1) 安定した図書館運営と次代の図書館づくり

司書確保課題を解決しつつ、一層の効率的な図書館運営を行なうために、窓口統合の研究・実施、休館日の見直し・新ポスト設置等に加え、利用者が使いやすい HP システムの改善等を行ない更なるサービス充実を図る。

(2) 第3次子どもの読書活動推進計画の推進と次期計画の策定

庁内組織による51施策と9項目の数値目標の推進と進捗管理の実施を行なう。また、次期計画の策定を行う。

(3) 文化センターエリアの協力強化

文化振興会、市美術館との連携の活性化を図る。

- ・ツペラツペラ展との協働
- ・美術展等のチラシ・シオリの配付及び特設展示の実施、連絡会議による駐車場検討

(4) 高齢者・シニア等居場所づくり

高齢者向けの講座等を実施し、図書館利用を拡大する。

- ・郷土史講座、健康講座 等

(5) 利用困難者への支援の充実とボランティアとの連携

利用困難者支援や地域課題解決支援など生涯学習の場として充実を図り、ボランティアとの協力・育成に取り組む。

- ・除籍図書の学童や子ども食堂への配布 等

(6) 行政課題解決支援のための各種行事や展示コーナーの設置

- ・平和事業（ピースフル久留米 等）
- ・男女共同参画、子どもの人権、防災などの関連図書館書の展示

『子どもの読書活動推進計画』に関する小・中・高アンケート結果について

1 目的

第3次久留米市子どもの読書活動推進計画（計画期間：平成29年度～令和元年度）に掲げる目標値を把握するとともに、次期子どもの読書活動推進計画策定の基礎資料とすることを目的として、児童・生徒の家庭や学校等での読書活動のアンケート調査を実施した。

2 アンケート実施時期

令和元年5月～6月

3 調査対象・回収状況

区分	回収数	実施方法	備考
小学生低学年	530	指定した学校・学年から学校が1クラスを選び実施	保護者が回答
小学生高学年	592	指定した学校・学年から学校が1クラスを選び実施	児童が回答
中学生	562	指定した学年から学校が1クラスを選び実施	生徒が回答
高校生	229	市立高校2校が各学年から1クラスを選び実施	生徒が回答

※下田小と浮島小は低学年の保護者全員と高学年の全児童に実施

4 調査結果

(1) 1カ月の読書量について

- ・前回調査に比べ、小学生・高校生で減少した。
- ・全国平均と比較して、小学生・中学生では少ないが、高校生では多い。

区分	H28年度	R元年度	全国平均(H30年度)
小学生(高)	6.8冊	6.2冊	9.8冊
中学生	3.0冊	3.4冊	4.3冊
高校生	2.2冊	2.1冊	1.3冊

(2) 不読率について

- ・前回調査に比べ、小学生・中学生・高校生すべてで上昇した。
- ・全国平均と比較して、小学生・高校生では低い、中学生では高い。

区分	H28年度	R元年度	全国平均(H30年度)
小学生(高)	3.4%	6.0%	8.1%
中学生	20.2%	20.3%	15.3%
高校生	11.8%	18.6%	55.8%

(3) スマートフォン・インターネットについて (新設問)

- ・スマートフォン・インターネットの使用割合は、小学生時から高い。
- ・使用時間は高学年ほど高く、小学生高学年以上は「3時間以上」使用する割合も高い。

区分	使用割合	使用時間			
		1時間未満	1～2時間	2～3時間	3時間以上
小学生(低)	70.7%	54.2%	35.4%	8.3%	2.1%
小学生(高)	75.2%	36.6%	31.5%	13.5%	18.4%
中学生	91.2%	18.8%	33.1%	27.7%	20.4%
高校生	100.0%	6.2%	38.8%	30.8%	24.2%

(4) 本を読むことについてどう思うか (複数回答)

- ・小学生・中学生・高校生いずれも「楽しい」と回答した割合が最も高い。
- ・高学年ほど「知識が増える」「感動する」と回答した割合が高い。

区分	楽しい	知識が増える 物知りになる	考える力がつく	感動する
小学生(高)	67.2%	31.4%	38.5%	19.9%
中学生	55.5%	48.4%	42.3%	26.5%
高校生	55.0%	47.2%	33.6%	31.9%

(5) どうすれば今以上に多くの本を読むようになるか (複数回答)

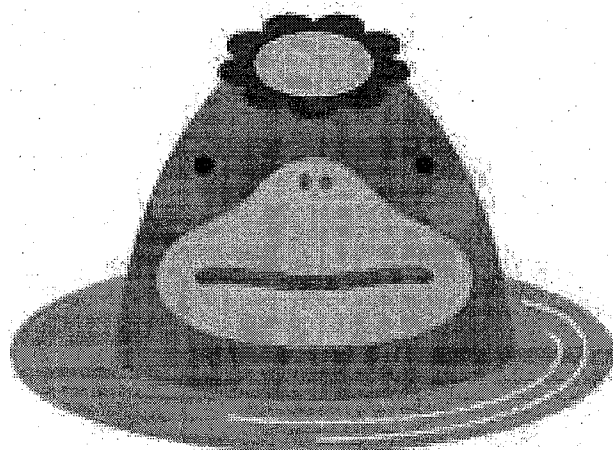
- ・「学校の図書室に読みたい本がたくさんある(魅力ある本を増やす)」「テレビやゲームやスマホ・インターネットの時間を減らす」と回答した割合が高い。
- ・低学年ほど「読みたい本がたくさんある(魅力ある本を増やす)」と回答した割合が高く、高学年ほど「テレビやゲームやスマホ・インターネットの時間を減らす」と回答した割合が高い。

区分	学校の図書室に読みたい本がたくさんある(魅力ある本を増やす)	テレビやゲームやスマホ・インターネットの時間を減らす
小学生(高)	56.1%	36.5%
中学生	53.9%	47.3%
高校生	37.6%	59.8%

5 調査結果から見た課題

- ① 全国の調査結果と同様、不読率が高くなっている。全体的に子どもたちの読書離れが進んでいる一方で、読書に親しむ子どもとそうではない子どもに二極化している。
- ② スマートフォン・インターネットが生活の一部となる一方で、子どもの読書環境に大きな影響を与えている。

『子どもの読書活動推進計画』に関する
小・中・高アンケート結果



市民文化部中央図書館

令和元年7月

目 次

1 調査の概要.....	1
2 アンケート結果からの子どもの読書傾向.....	2
(1) 読書量について.....	2
(2) 不読率について.....	2
(3) 本を読むのが好きな児童・生徒の割合とその理由.....	4
(4) 本を読むのが嫌いな児童・生徒の割合とその理由.....	6
(5) 本をどのようにして用意しているか.....	8
(6) 本を読むことについてどう思うか.....	9
(7) どうすれば今以上に多くの本を読むようになるか.....	1.0
(8) ブックスタートの参加率及び理解について.....	1.1
(9) スマートフォン・インターネットの使用について.....	1.2
(10) スマートフォン・インターネットの使用時間について.....	1.3
(11) 電子書籍について.....	1.4
(資料等)	
○ アンケート調査票.....	1.5

1 調査の概要

アンケート内容・・・家庭や学校等での読書活動の現状

実施時期・・・・・・・・令和元年5月～6月

(1) 小学生低学年へのアンケート（保護者記入）

①アンケート対象・・・小学1・2・3年生の保護者

②実施方法・・・・・・・・市立小学校26校を対象に、図書館が指定した学年のうち
学校が一クラスを選び実施

※下田小と浮島小は1・2・3年生の保護者全員に実施

③回収数・・・・・・・・530人

(2) 小学生高学年へのアンケート

①アンケート対象・・・小学4・5・6年生

②実施方法・・・・・・・・市立小学校22校を対象に、図書館が指定した学年のうち
学校が一クラスを選び実施

※下田小と浮島小は4・5・6年生の児童全員に実施

③回収数・・・・・・・・592人

(3) 中学生へのアンケート

①アンケート対象・・・中学1・2・3年生

②実施方法・・・・・・・・市立中学校17校を対象に、図書館が指定した学年のうち
学校が一クラスを選び実施

③回収数・・・・・・・・562人

(4) 高校生へのアンケート

①アンケート対象・・・高校1・2・3年生

②実施方法・・・・・・・・市立高校2校から、学校が各学年から一クラスを選び実施

③回収数・・・・・・・・229人

2 アンケート結果からの子どもの読書傾向

今回を含め過去4回の「子どもの読書活動推進計画」策定時に実施したアンケート結果は下記のとおり。

項目	区分	H18年度	H23年度	H28年度	R元年度	全国平均 (H30年度)
1ヶ月の読書量 (不読者を含む)	小学生 (高学年)	6.4冊	6.1冊	6.8冊	6.2冊	9.8冊
	中学生	2.2冊	2.8冊	3.0冊	3.4冊	4.3冊
	高校生	1.7冊	2.0冊	2.2冊	2.1冊	1.3冊
1ヶ月に1冊も本を 読まなかった割合 (不読率)	小学生 (高学年)	3.1%	3.0%	3.4%	6.0%	8.1%
	中学生	26.5%	23.5%	20.2%	20.3%	15.3%
	高校生	16.9%	12.7%	11.8%	18.6%	55.8%

※「全国平均」は、平成30年に実施された「第64回全国学校読書調査（全国学校図書館協議会、毎日新聞社）」

(1) 読書量について

- 小学生の読書量は減少した。
- 中学生の読書量は増加した。
- 高校生の読書量はわずかに減少した。

★各児童・生徒別特徴★

【小学生高学年】

○1ヵ月当りの読書量は、6.2冊で、前回調査（6.8冊）より減少した。

【中学生】

○1ヵ月当りの読書量は、3.4冊で、前回調査（3.0冊）より増加した。

【高校生】

○1ヵ月当りの読書量は、2.1冊で、前回調査（2.2冊）より減少した。

(2) 不読率について

- 前回調査に比べ、小・中・高とも増加（悪化）した。
- 小学生の不読率は、全国の不読率より低い。
- 中学生の不読率は、全国の不読率よりも高い。
- 読書をする児童・生徒と読書をしていない児童・生徒と二極化が進んでいるようだ。

★各児童・生徒別特徴★

【小学生高学年】

○不読率は、6.0%で前回調査（3.4%）より大きく増加（悪化）した。

【中学生】

○不読率は、20.3%で前回調査（20.2%）よりわずかに増加（悪化）した。

【高校生】

○不読率は、18.6%で前回調査（11.8%）より大きく増加（悪化）した。

(参考)

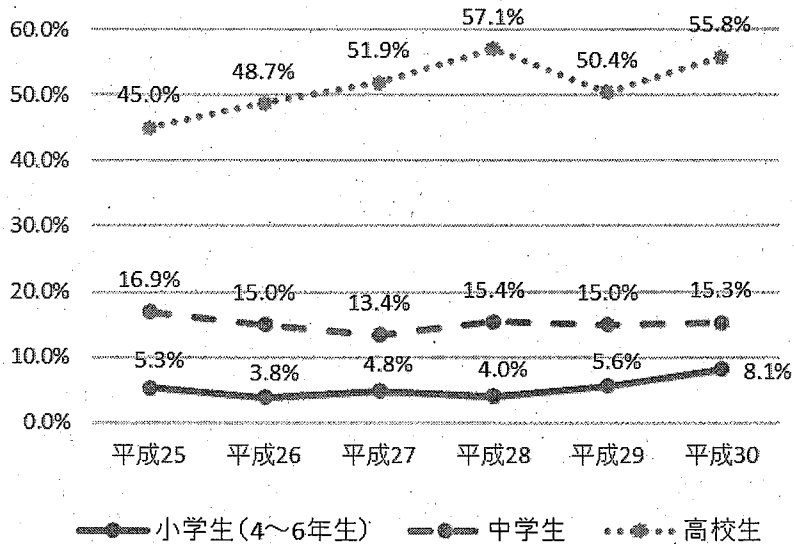
第4次子ども読書活動推進基本計画（国：平成30年）における不読率改善目標

	H24	H29	R4 目標
小学生	4.5%	5.6%	2%以下
中学生	16.4%	15.0%	8%以下
高校生	53.2%	50.4%	26%以下

10年間で不読率の半減を目指す

第一次基本計画（H15～19年）、第二次基本計画（H20～24年）、
第三次基本計画（H25～29年）、第四次基本計画（H30～R4年）

全国不読率の推移

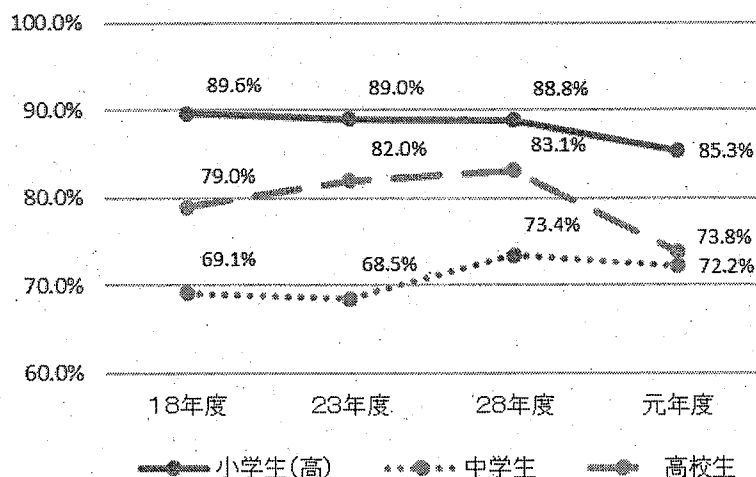


(3) 本を読むのが好きな児童・生徒の割合とその理由

●分かったこと

- 「本を読むのが好きな児童・生徒の割合」は、小・中・高すべて低下した。
- 本を読むことが好きになった理由は、「学校の読書の時間で本を読むようになってから」「家に本があったから」「小さい頃家族に本を読んでもらったから」の割合が高い。

本を読むのが好きな児童・生徒の割合



★各児童・生徒別特徴★

【小学生高学年】

- 本を読むことが好きな児童の割合は 85.3%で、前回より 3.5%下がった。
- 本を読むことが好きになった理由は、「学校の読書の時間で本を読むようになってから」(36.2%)、「家に本があったから」(34.2%)、「小さい頃家族に本を読んでもらったから」(32.8%) の順で多い。

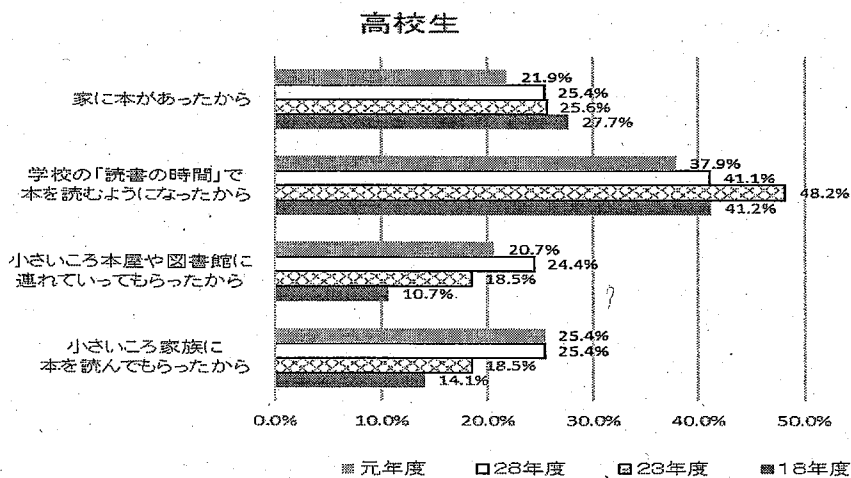
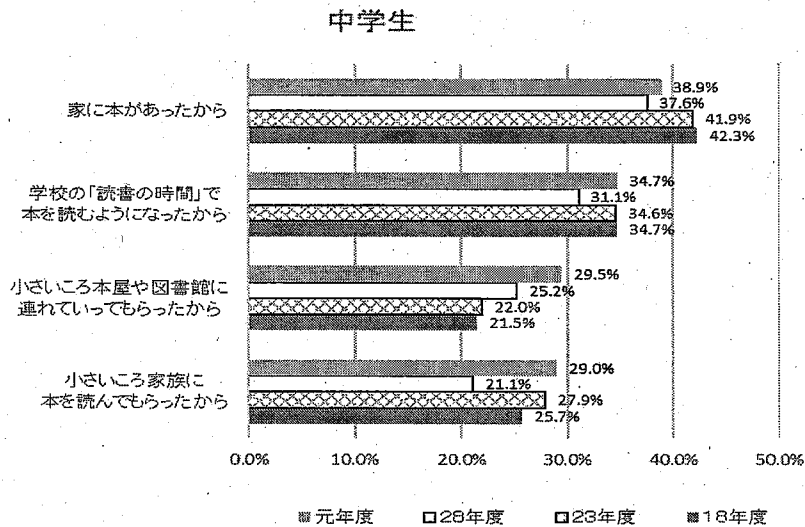
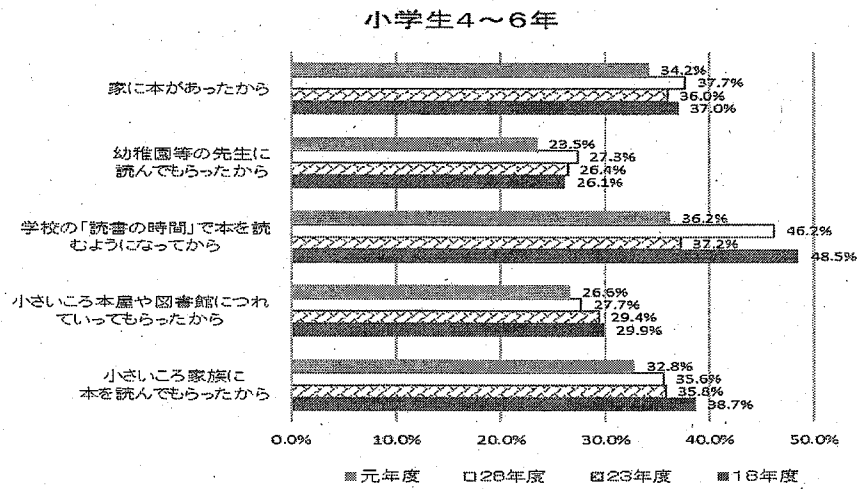
【中学生】

- 本を読むことが好きな生徒の割合は 72.2%で、前回に比べ 1.2%下がった。
- 本を読むことが好きになった理由は、「家に本があったから」(38.9%)、「学校の読書の時間で本を読むようになってから」(34.7%) の順で多い。

【高校生】

- 本を読むことが好きな生徒の割合は 73.8%で、前回より 9.3%下がった。
- 本を読むことが好きになった理由は、「学校の読書の時間で本を読むようになった」(37.9%)、「小さい頃家族に本を読んでもらったから」(25.4%)、「家に本があったから」(21.9%) の順で多い。

●本を読むのが好きになった理由



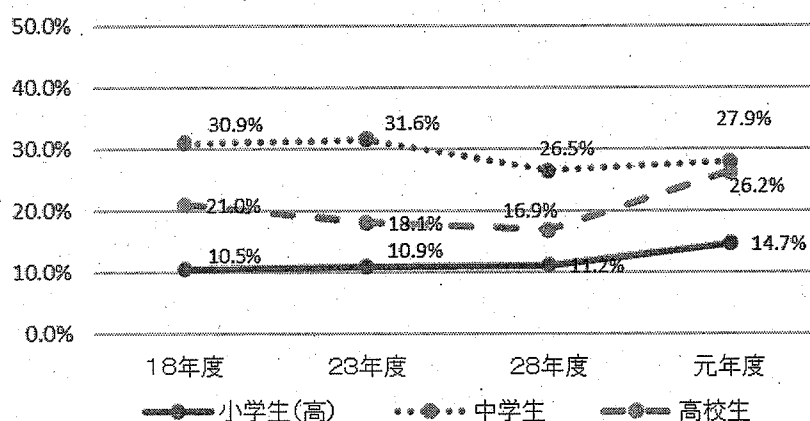
(4) 本を読むのが嫌いな児童・生徒の割合とその理由

●分かったこと

■「本を読むのが嫌いな児童・生徒の割合」は、低下傾向だったが、今回調査では小・中・高いずれも上昇した。

■本を読むことが嫌いになった理由は、「読書感想文や感想画を書くのが嫌だった」、「本を読むのが面白くない」、「本を読むのは難しい」の3つの割合が高い。

本を読むのが嫌いな児童・生徒の割合



★各児童・生徒別特徴★

【小学生高学年】

○本を読むことが嫌いな児童の割合は、14.7%で3.5%増加した。

○本を読むことが嫌いになった理由は、「読書感想文や感想画を書くのが嫌だった」(44.8%)、「本を読むのはおもしろくない」(35.6%)、「本を読むのはむずかしいから」(27.6%)の順で多い。

【中学生】

○本を読むことが嫌いな生徒の割合は、27.9%で1.4%増加した。

○本を読むことが嫌いになった理由は、「本を読むのは面白くない」(45.5%)、「読書感想文や感想画を書くのが嫌だった」(43.6%)、「本を読むのは難しいから」(25.6%)の順で多い。

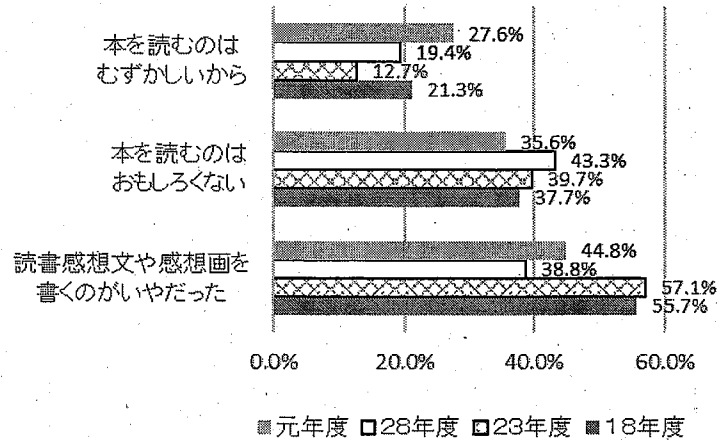
【高校生】

○本を読むことが嫌いな生徒の割合は、26.2%で9.3%増加した。

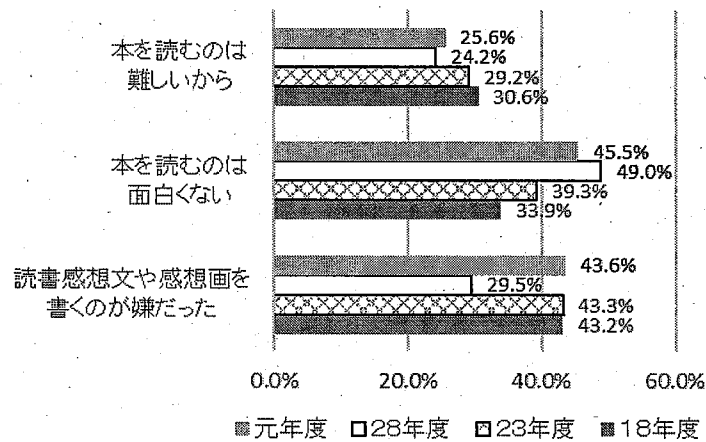
○本を読むのが嫌いになった理由は、小・中・高いずれも「読書感想文や感想画を書くのが嫌だった」(40.0%)、「本を読むのは面白くない」(31.7%)、「本を読むのが難しいから」(23.3%)の順で多い。

●本を読むのが嫌いになった理由

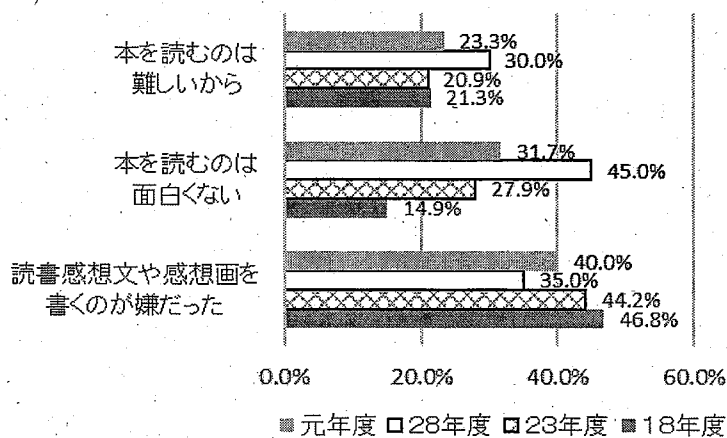
小学4～6年生



中学生

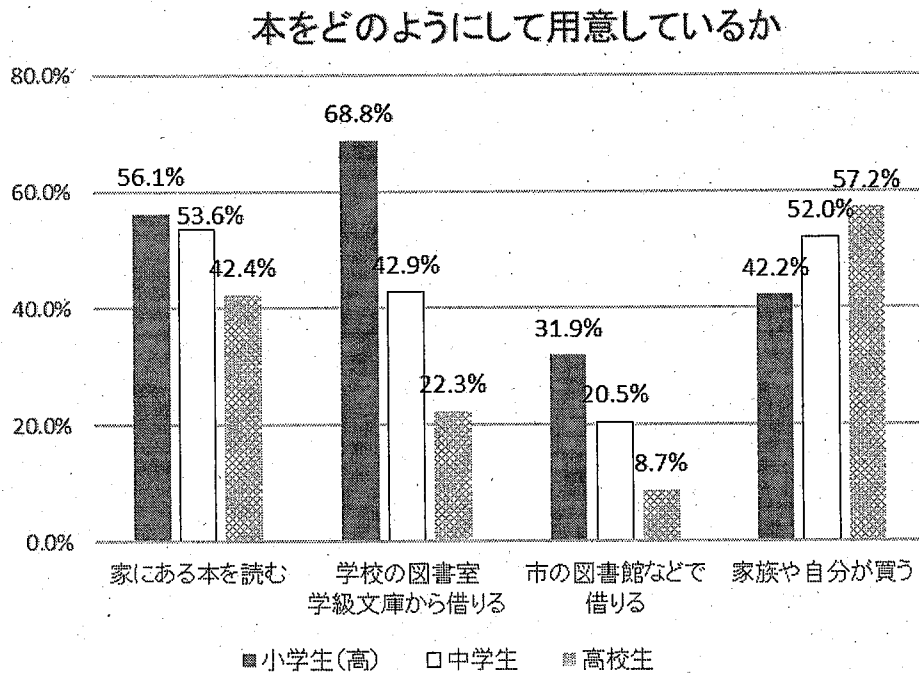


高校生



(5) 本をどのようにして用意しているか

- 分かったこと
- 「家にある本を読む」「学校の図書室などで借りる」「家族に買ってもらうか自分で買う」の割合が高い。
- 高学年になるほど、学校図書室や図書館から本を借りる割合が低くなる。



★各児童・生徒別特徴★

【小学生高学年】

- 「学校の図書室や学級文庫から借りる」(68.8%)、「家にある本を読む」(56.1%)、「家族に買ってもらうか自分で買う」(42.2%)、「図書館などで借りる」(31.9%)の順で多い。

【中学生】

- 「家にある本を読む」(53.6%)、「家族に買ってもらうか自分で買う」(52.0%)、「学校の図書室や学級文庫から借りる」(42.9%)の順で多い。

【高校生】

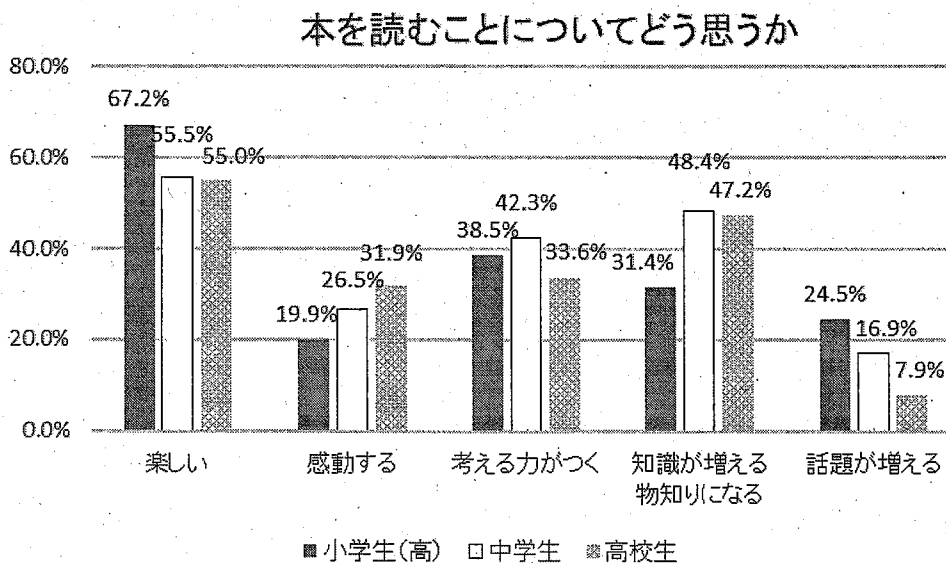
- 「家族に買ってもらうか自分で買う」(57.2%)、「家にある本を読む」(42.4%)、「友達から借りる」(22.7%)、「学校の図書室や学級文庫から借りる」(22.3%)の順で多い。

(6) 本を読むことについてどう思うか

● 分かったこと

■ 小・中・高いずれも「楽しい」と回答した割合が最も高い。

■ 高学年になるにつれ「知識が増える」「感動する」と回答した割合が高い。



★各児童・生徒別特徴★

【小学生高学年】

○ 「楽しい」(67.2%)、「考える力がつく」(38.5%)、「物知りになる」(31.4%) の順で多い。

【中学生】

○ 「楽しい」(55.5%)、「知識が増える」(48.4%)、「考える力がつく」(42.3%) の順で多い。

【高校生】

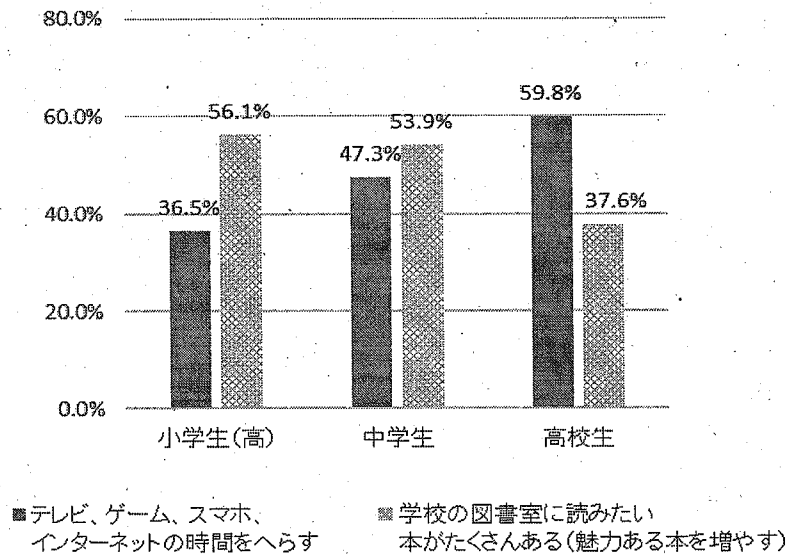
○ 「楽しい」(55.0%)、「知識が増える」(47.2%)、「考える力がつく」(33.6%) の順で多い。

(7) どうすれば今以上に多くの本を読むようになるか

●分かったこと

- 「学校の図書室に読みたい本がたくさんある（魅力ある本を増やす）」「テレビやゲームやスマホ・インターネットの時間を減らす」と回答した児童・生徒の割合が高い。
- 低学年ほど「読みたい本がたくさんある（魅力ある本を増やす）」と回答した児童・生徒の割合が高い。
- 高学年ほど「テレビやゲームやスマホ・インターネットの時間を減らす」と回答した児童・生徒の割合が高い。

どうすれば今より多くの本を読めるようになるか



★各児童・生徒別特徴★

【小学生高学年】

○「学校の図書室に読みたい本がたくさんある」(56.1%)、「テレビやゲームやスマホ・インターネットの時間を減らす」(36.5%)、「家の人に図書館に連れて行ってもらう」(34.1%)の順で多い。

【中学生】

○「学校の図書室に魅力ある本を増やす」(53.9%)、「テレビやゲームやスマホ・インターネットの時間を減らす」(47.3%)の順で多い。

【高校生】

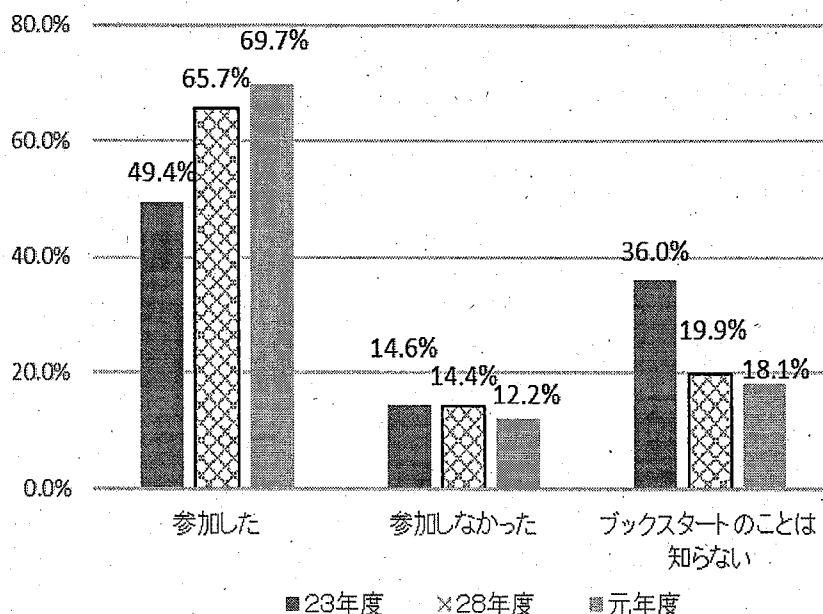
○「テレビやゲームやスマホ・インターネットの時間を減らす」(59.8%)が断然多く、「学校の図書室に魅力ある本を増やす」(37.6%)が次に多い。

(8) ブックスタートの参加率及び理解について

- 分かったこと
- ブックスタートに参加したことがある保護者の割合は 69.7%に増加
(ただし、他自治体開催の参加も含む)
- ブックスタートに参加しなかった保護者は 12.2%に減少
- ブックスタートのことを知らない保護者は 18.1%に減少

ブックスタートの参加割合

(小学生1年～3年の保護者回答)



(注)「参加した」は、他自治体開催のブックスタート参加を含む

(参考) 久留米市のブックスタート参加数及び参加率

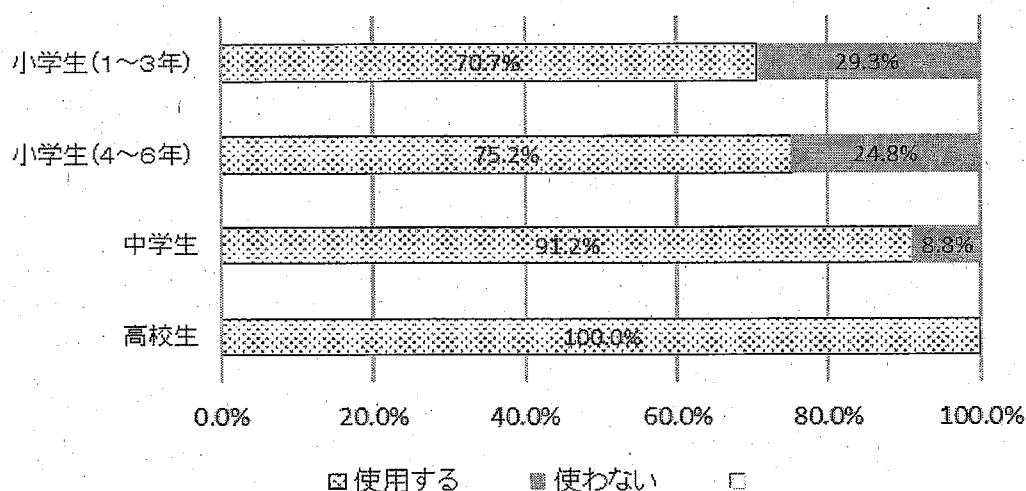
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
参加数 (組)	1,370	1,559	1,487	1,731	1,619	1,704	1,706	1,778	1,866	1,805	1,708	1,724
参加率 (%)	46.8	52.7	51.5	58.7	55.7	58.0	55.6	58.4	60.3	61.5	59.3	59.4

(9) スマートフォン・インターネットの使用について

●分かったこと

- 高学年になるほど使用割合が高い。
- ほとんど全ての高校生はスマートフォンやインターネットを使用している。
- 小学生時から使用割合が高い。

スマートフォン・インターネットを使用する割合



★各児童・生徒別特徴★

【小学生】

- 小学生低学年の70.7%がスマートフォンやインターネットを使用
- 小学生高学年の75.2%がスマートフォンやインターネットを使用

【中学生】

- 中学生の91.2%がスマートフォンやインターネットを使用

【高校生】

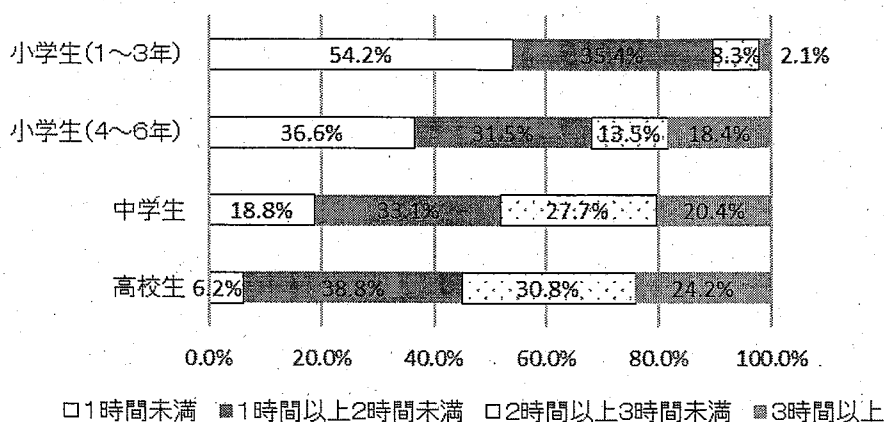
- 調査した全ての高校生がスマートフォンやインターネットを使用

(10) スマートフォン・インターネットの使用時間について

● 分かったこと

- 高学年になるにつれ使用時間が長い。
- 小学生高学年は「3時間以上」使用する割合も高い。

スマートフォン・インターネットの使用時間 (1日当たり)



★各児童・生徒別特徴★

【小学生】

- 小学生低学年は「1時間未満」(54.2%)、「1時間以上2時間未満」(35.4%)の順で多い。
- 小学生高学年は「1時間未満」(36.6%)、「1時間以上2時間未満」(31.5%)の順で多く、「3時間以上」(18.4%)も多い。

【中学生】

- 「1時間以上2時間未満」(33.1%)、「2時間以上3時間未満」(27.7%)、「3時間以上」(20.4%)の順で多い。

【高校生】

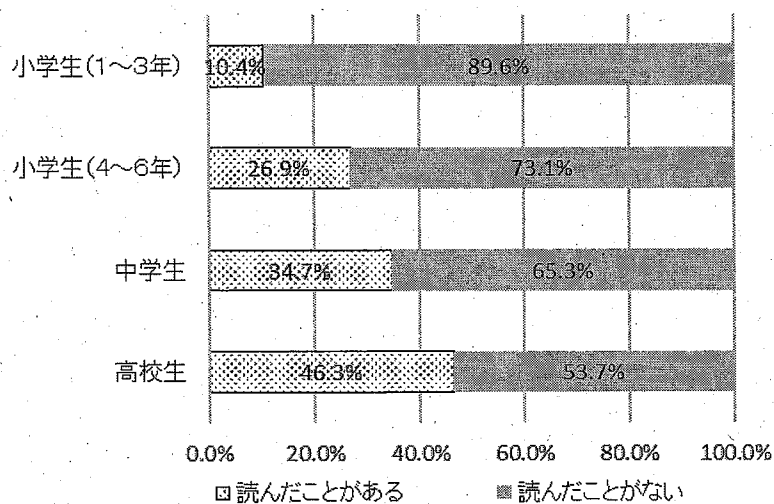
- 「1時間以上2時間未満」(38.8%)、「2時間以上3時間未満」(30.8%)、「3時間以上」(24.2%)の順で多い。

(11) 電子書籍について

●分かったこと

■高学年になるにつれ、電子書籍を読んだ割合が高い。

電子書籍を読んだ割合



★各児童・生徒別特徴★

【小学生】

○小学生低学年の10.4%が電子書籍を読んだことがある。

○小学生高学年の26.9%が電子書籍を読んだことがある。

【中学生】

○中学生の34.7%が電子書籍を読んだことがある。

【高校生】

○高校生の46.3%が電子書籍を読んだことがある。

問い6. あなたは、読む本をどのようにしてよいしていますか。あてはまるものに○をつけてください。(いくつでもいいです)

1. 家にある本を読む
2. 学校の図書室や学級文庫からかりる
3. 市の図書館、移動図書館(グリーン号)、市民センターなどでかりる
4. 家族に買ってもらうか自分で買う
5. 友だちからかりる
6. 読まない
7. そのほか()

問い7. あなたは、本を読むことについてどう思いますか。あてはまるものに○をつけてください。(いくつでもいいです)

1. 楽しい
2. 感動する
3. 考える力がつく
4. 物知りになる
5. 家族や友だちとの話題がふえる
6. めんどくさい
7. 読みたい本がまわりにない
8. おもしろくない
9. そのほか()

問い8. あなたは、どうすれば今までよりたくさん本が読めるようになると思いますか。あてはまるものに○をつけてください。(いくつでもいいです)

1. テレビ、ゲーム、スマートフォン、インターネットの時間をへらす
2. 学校の図書室に読みたい本がたくさんある
3. 学校の図書室に本のことを教えてくれる先生がいる
4. 家族といっしょに本を読む
5. 家の人に図書館につれて行ってもらう
6. そのほか()

問い9. あなたは、スマートフォンやインターネットは、使いますか。

1. 使う
2. 使わない

(問い9で「1. 使う」とこたえた人)

問い10. あなたは、1日にどのくらい使いますか。

1. 1時間未満
2. 1時間以上2時間未満
3. 2時間以上3時間未満
4. 3時間以上

問い11. あなたは、スマートフォンやインターネットを使って本を読んだことがありますか。

1. 読んだことがある
2. 読んだことがない

問い12. あなたの好きな本や、友だちにすすめたい本があれば書いてください。なんさつでもいいです。

問5. あなたは1か月にどのくらい本を読みますか。

1. ぜんぜん読まない
2. 1～2冊
3. 3～5冊
4. 6～9冊
5. 10冊以上

問6. あなたは読む本を、どのようにして用意していますか。あてはまるものに○を付けてください。(いくつでもいいです)

1. 家にある本を読む
2. 学校の図書室から借りる
3. 市の図書館、市民センターなどで借りる
4. 家族に買ってもらうか自分で買う
5. 友達から借りる
6. 読まない
7. その他()

問7. あなたは本を読むことについてどう思いますか。あてはまるものに○を付けてください。(いくつでもいいです)

1. 楽しい
2. 感動する
3. 考える力がつく
4. 知識が増える
5. 家族や友だちとの話題が増える
6. めんどくさい
7. 読みたい本が周りにない
8. 面白くない
9. その他()

問8. あなたはどうすれば今までよりたくさんの本が読めるようになると思いますか。あてはまるものに○を付けてください。(いくつでもいいです)

1. テレビ、ゲーム、スマートフォン、インターネットの時間を減らす
2. 学校の図書室に魅力ある本を増やす
3. 学校の図書室に本に詳しい先生(司書)がいる
4. 家族といっしょに本を読む
5. その他()

問9. あなたは、スマートフォンやインターネットは、使いますか。

1. 使う
2. 使わない

(問9で「1. 使う」とこたえた^{ひと}人)

問10. あなたは、1日^{いち}にどのくらい使いますか。

1. 1時間未満
2. 1時間以上2時間未満
3. 2時間以上3時間未満
4. 3時間以上

問11. あなたは、電子書籍を読んだことがありますか。

1. 読んだことがある
2. 読んだことがない

問12. あなたの好きな本や、友だちにすすめたい本があれば書いてください。何冊でもいいです。

--

問5. あなたは1か月にどのくらい本を読みますか。

1. ぜんぜん読まない
2. 1～2冊
3. 3～5冊
4. 6～9冊
5. 10冊以上

問6. あなたは読む本を、どのようにして用意していますか。あてはまるものに○を付けてください。(いくつでもいいです)

1. 家にある本を読む
2. 学校の図書室から借りる
3. 市の図書館、市民センターなどで借りる
4. 家族に買ってもらうか自分で買う
5. 友達から借りる
6. 読まない
7. その他 ()

問7. あなたは本を読むことについてどう思いますか。あてはまるものに○を付けてください。(いくつでもいいです)

1. 楽しい
2. 感動する
3. 考える力がつく
4. 知識が増える
5. 家族や友だちとの話題が増える
6. めんどくさい
7. 読みたい本が周りにはない
8. 面白くない
9. その他 ()

問8. あなたはどうすれば今までよりたくさんの本が読めるようになると思いますか。あてはまるものに○を付けてください。(いくつでもいいです)

1. テレビ、ゲーム、スマートフォン、インターネットの時間を減らす
7. 学校の図書室に魅力ある本を増やす
8. 学校の図書室に本に詳しい先生(司書)がいる
9. 家族といっしょに本をよむ
10. その他 ()

問9. あなたは、スマートフォンやインターネットは、使いますか。

1. 使う
2. 使わない

(問9で「1. 使う」とこたえた^{ひと}人)

問10. あなたは、1日にどのくらい使いますか。

3. 1時間未満
2. 1時間以上2時間未満
3. 2時間以上3時間未満
4. 3時間以上

問11. あなたは、電子書籍を読んだことがありますか。

1. 読んだことがある
2. 読んだことがない

問12. あなたの好きな本や、友だちにすすめたい本があれば書いてください。何冊でもいいです。

--

読書についてのアンケート調査（1・2・3年生の保護者用）

下記のあてはまる数字に○をつけるかその他の欄に自由にご回答ください。
このアンケートでいう「本」は、教科書・参考書・マンガ・雑誌は含みません。

問1. あなたは子どもが読書をすることは大切だと思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. その他（ ）

問2. あなたは自分の子どもに読み聞かせ（本を読んであげた）の経験はありますか。

1. よくある 2. 時々ある ⇒問3へ進んでください
3. ほとんどない 4. ない ⇒問3、問4、問5はとばして問6へ

問3. 読み聞かせを始めたきっかけは何ですか。

1. 友人・知人にすすめられて 2. 子どもにせがまれて 3. 講演会等を聞いて
4. 学校図書館の司書にすすめられて 5. その他（ ）

問4. 読み聞かせをすることで、お子さんはどのように変化しましたか。あてはまると思うものに全て○を付けてください。

1. 機嫌がよくなる 2. 読んでとせがむ 3. 言葉の発達に役立つ
4. 絵や文字に興味を持つようになった 5. 人の話が聞けるようになった
6. 本が好きになった 7. 子どもが落ち着いた 8. 感性が豊かになった
9. その他（ ）

問5. 読み聞かせの本は主にどうやって用意していますか。

1. 市立図書館（移動図書館を含む）や市民センター等で借りる
2. 子どもが学校の図書室から借りてくる 3. 購入する
4. その他（ ）

問6. あなた自身は本を読むことは好きですか。

1. 好き 2. どちらかというところ好き ⇒問7へ
3. 嫌い 4. どちらかというところ嫌い ⇒問8へ

（問6で好き、どちらかというところ好きと答えた方）

問7. あなたは、なぜ本を読むことが好きになったのか、あてはまると思うものに全て○を付けてください。

1. 小さいころ家族に本を読んでもらったから
2. 小さいころ本屋や図書館に連れていってもらったから
3. 家族や先生に、本を読むようにすすめられたから
4. 本をプレゼントされたから
5. 本が好きな友人・知人の影響を受けた
6. 家に本があったから
7. その他（ ）

裏面をご覧ください

(問6で嫌い、どちらかという嫌いと答えた方)

問8. あなたは、なぜ本を読むことが嫌いになったのか、あてはまると思うものに全て○を付けてください。

1. 子どもの頃無理やり本を読まされた
2. 読書感想文や感想画をかくのが嫌だった
3. 本を読むのは難しいから
4. 本を読むのは面白くない
5. 自分の周りに本が無い
6. その他()

問9. あなたは、どうすれば子どもたちがもっと本を読むようになると思いますか。あてはまると思うもの全てに○を付けてください。

1. 子どもが小さい時から親が本の読み聞かせをする
2. 家族が子どもに読書を勧めたり、本を与えたりする
3. 家族自身が本を楽しむ
4. 家族で図書館や本屋に行く機会を増やす
5. テレビ、ゲーム、スマートフォン、インターネットの時間を減らす
6. 家で「読書の時間」をつくる
7. 学校教育にもっと読書の時間を取り入れる
8. その他()

問10. ブックスタート(赤ちゃんと保護者に言葉をそえて絵本をプレゼントする運動)に参加しましたか。

1. 久留米市のブックスタートに参加した
2. 他市町村のブックスタートに参加した()市・町・村
3. ブックスタートのことは知っているが参加しなかった
4. ブックスタートのことは知らない

問11. あなたのお子さんはスマートフォンやインターネットは使いますか。

1. 使う
2. 使わない

(問11で「1. 使う」とこたえた人)

問12. 1日にどのくらい使っていますか。

1. 1時間未満
2. 1時間以上2時間未満
3. 2時間以上3時間未満
4. 3時間以上

問13. あなたのお子さんは、電子書籍(例:絵本アプリ)を読んだことがありますか。

1. 読んだことがある
2. 読んだことがない

問14. その他、子どもの読書についてご意見等がありましたらご記入ください。

()

問15. 子どもたちにすすめたい本がありましたらご記入ください。

()

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。